



### 点訳奉仕員歴50年

### —大槻繁子さん—



私たちが普段読んでいる一冊の本。その本を視覚障がい者のために長年点字翻訳している、弘前パール会会員で点訳奉仕員の大槻さんにお話を伺いました。

※ 点訳とは、活字や手書きの文字などふつうの文字で書かれた文章を点字での文章に翻訳すること

#### 点字を始めたきっかけは？

東京の大学時代の担当教授に盲学校に連れて行ってもらい、卒業論文のテーマとして点字を選んだのがきっかけ。結婚後、弘前に引っ越して来て広報で点訳奉仕員の募集の記事を目にして応募し、3年かけて資格取得。

#### 点訳した本の冊数は？

80冊。私の場合は、本一冊にかける点訳日数は約3ヵ月と決めています。初めて自分で点訳した本を点字図書館（青森県視覚障害者情報センター）で目にしたときは感動！

#### ボランティア歴は？

50年くらい。大変だと思った時もありましたが、仲間の支えがあったので続けてこられました。

#### 本以外にも点訳しているものは？

パール会で、弘前市のゴミ分別収集日程表や『福祉の樹』という障がい者のための冊子など。



#### 点訳をしていて嬉しかったことは？

私が初めて点訳した本を、それと知った視覚障がい者のかたから「点字というものがあるお陰で自分たちの生活に潤いが生まれます。どうぞ続けていってください」という内容の手紙をもらったこと。それによって、自分を必要としている人がいるので頑張らなければいけないと思った。

#### パール会とは？

愛盲協会の中の点訳部門。会員は25名程で、月1回勉強会を行っています。

#### 身近にある点字のついているもの

テレビやビデオのリモコン：電話機：洗濯機：ジャムの瓶：缶ビールや缶チューハイ（アルコールと認識するため）：デパートのエレベーター前など。家庭の中で気を付けてみると点字のついているものが結構あるかもしれませんね。

#### 今後の目標は？

私でも必要としてくれている人がいるので、100冊目指して体力と知力の続く限り頑張っていこうと思っています。

点訳する本は県からの依頼でくるため自分では選べないそうですが、点訳しながら読み進んでいくうちにとても感動する本に出逢える楽しみや喜びがあるそうです。

パール会では、ボランティア功労者厚生労働大臣表彰に過去何人か選ばれており、大槻さんも2年前に選ばれています。これからも点訳奉仕員として視覚障がい者のかたに一冊でも多くの本を届けていきたいと思えます。



点字に興味のあるかたは……点字講習会が毎週火曜日に行われています。

午前10時～12時 午後1時～3時

弘前市八幡町1丁目9-17 ☎0172-36-4521

今年の募集は6月1日の広報に掲載されますので身体障害者福祉センターへお問い合わせください。

施設利用者の方に笑顔になって欲しいと当センターにお化粧ボランティアの依頼があり、青森県ヘアアーティスト専門学校生徒5名にボランティアを行っていただきました。



## およう園ベルフラワーを訪問して



青森県ヘアアーティスト専門学校 美容科 板谷美咲

3月3日『およう園ベルフラワー』を訪問させて頂きました。今回私たち美容科はメイク・ネイルを、理容科はドライシャンプーとマッサージを入所者の方々に実際に施術しました。

最初お互いのことを知ろうということで自己紹介をしました。私は緊張して声が小さくなってしまいましたが、施設の方々が大きな拍手をしてくださり緊張がほぐれました。皆さん施術をする前「よろしくお願いします」や「来てくれてありがとう」など必ず一声かけてくださり私たちは堅くならずリラックスして施術することができたと思います。

私はメイクを担当しました。最初の方は春らしい色を使って欲しいとの要望を頂いたので、ピンクや淡い紫をアイホールに使いました。口紅は、その方の雰囲気<sup>(ニ)</sup>に合わせて自分なりに考えた色を作り塗りました。メイクを終えた方が目を開けて鏡を見た第一声が「わあ、キレイ になった」と言って喜んでくださいました。正直気になってくれるか不安でしたが、笑顔で「ありがとう」と手を握ってくれました。私は本当に嬉しかったし、その言葉は一生忘れません。限られた時間ではありましたが、たくさんの方に施術し、ふれ合うことができました。またひな祭り会食会ということで、お昼はちらし寿司などを用意してくださり、みんなでおいしく頂きました。

今回は、このような貴重な体験をさせてもらい、たくさん学ぶことができました。私たちはこれから国家試験合格という大きな目標があり、一年後にはお店で働いています。この体験を通して、皆さんから頂いたお言葉や笑顔を忘れず日々精進していきます。



## 「ほっと・ぼらんていあ」のお知らせ

ボランティアされている方をゲストにお迎えして、ボランティアに関することなどの様々なお話をさせていただきます。どなたでもお気軽にご参加ください。申込不要。

日時 6月4日(土) 13:30~15:30  
場所 市民参画センター3階 グループ活動室1  
ゲスト 泉谷俊二さん  
テーマ 自分の趣味(歌)を生かしたボランティア  
~自分が楽しくなければ相手も楽しめない~ 退職後(63歳)から初めたボランティア  
問合せ 弘前市ボランティア支援センター 電話38-5595



## 豆知識



### お着き菓子



温泉旅館で部屋に置いてあるお菓子を「お着き菓子」と言うそうです。

昔、旅人は遠くから徒歩で移動をしていました。宿に着いた旅人の疲れを癒したものが甘いモノ…。その名残で現代でもお着き菓子として部屋にお菓子が置いてあります。また、旅館に夕方着き夕食前に温泉に入る方も多く、空腹で入浴し血糖値が下がり具合が悪くならないようにという配慮もあるようです。

旅館についたら温泉に急がず、まずはお菓子とお茶を頂きましょう。



## 編集後記

4月から参画センターにきました工藤です。

学生時代はボランティアサークルに所属し、大学病院の小児科に入院している子どもたちと一緒に遊ぶという活動をしていました。ボランティアで行っているつもりが、気づけば毎回子どもたちの可愛い笑顔にメロメロでした(\*´▽`\*)

これからボランティアに関していけることが楽しみです。よろしくお願いします!

工藤美乃



<製作>市民ボランティアスタッフ<製作協力>弘前市ボランティア支援センター  
〒036-8355 弘前市大字元寺町1-13 弘前市民参画センター内  
TEL: 38-5595 FAX: 36-1822  
HP: [www.city.hirosaki.aomori.jp/volunteershien/](http://www.city.hirosaki.aomori.jp/volunteershien/)

※ URL が変更になりました。  
情報紙についての意見・感想をお待ちしております。